

企業局

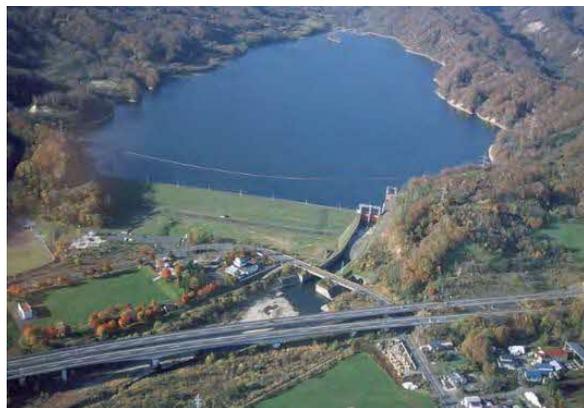
北海道職員になろう！

—北海道企業局職員（総合土木）採用案内—

企業局は、北海道が経営する地方公営企業で、
再生可能エネルギーである水力を利用して発電する電気事業と、
鉄鋼や自動車関連企業等の工場に工業用水を供給する工業用水道事業を行っています。



スーパーパロ発電所と夕張スーパーパロダム



室蘭地区工業用水道（幌別ダム）

知事部局と同時に、大学、高等専門学校、高校、専門学校の卒業予定者、
または卒業生などを対象に、土木職の技術職員を募集しています。



○ 企業局の仕事

○ 電気事業

一般家庭110,000世帯分の電源供給

(世帯当たり年間使用量2,760kWhとして換算)



清水沢発電所改修工事 (工事現場全景)



清水沢発電所改修工事 (工事監督状況)

○ 工業用水道事業



室蘭・苫小牧・石狩の工業地域に工業用水を供給

供給能力は、日量327,000トン (m³)

(25mプールで約900杯分)



工業用水道管布設工事
(管設置状況)



工業用水道管布設工事
(不断水仕切弁設置状況)

これらの施設の建設・改修及び維持管理を通じて、北海道の産業や経済の発展とともに、道民の暮らしが、より豊かとなるよう、日々の業務に取り組んでいます。

総合土木職員の仕事



平成27年度採用
発電課 施設計画係
技師 石若 理

● 私の、とある一日 ●



仕事内容

施設計画係では、老朽化した既存発電所の改修計画や新規の水力発電開発の可能性を検討する業務を行っています。

やりがいや難しさ

札幌以外の事務所勤務であれば、自分がいる場所周辺の工事などを行うため、目にみえるというやりがいがあり、札幌勤務であれば、大きい金額の委託業務等を取り扱うこととなりますが、それだけ大きな事業に携われるという点でやりがいがあると思います。

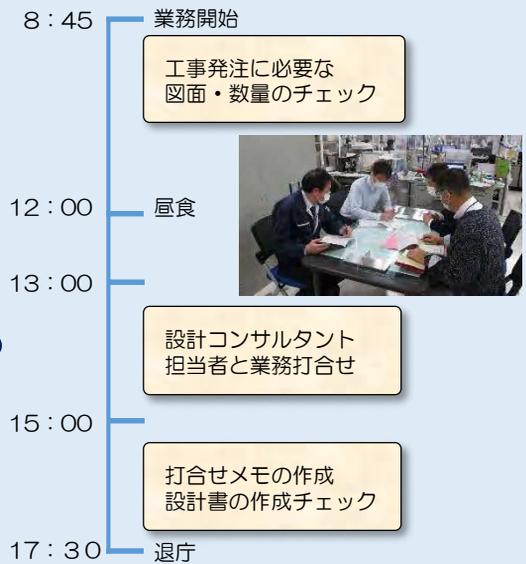
企業局職員の魅力とは？

基本的に土木の仕事ではありますが、発電課や発電所勤務では通常の土木・建設業以外に、電力土木という他とは違った仕事ができるという点です。



平成29年度採用
工業用水道課 施設整備係
技師 福嶋 和希

● 私の、とある一日 ●



仕事内容

施設整備係では、工業用水道施設の大規模な改修計画の策定や改修工事を行っています。

私の主な仕事は、室蘭工水で管理している幌別ダム のゲート設備を改修するため、設計コンサルタントの方と打合せながら設計委託のとりまとめを行うほか、工事発注に向けて積算業務を行っています。

やりがいや難しさ

工事現場は現場条件が様々であり、条件にあわせた工事方法で行う必要があります。工事方法について覚えることはたくさんありますが、色々な経験を積めるため、やりがいがあります。

企業局職員の魅力とは？

改修事業は現場条件の制約や関係機関との調整があり、最適な方法で事業を進めるためには、色々な知識が必要になります。企業局はコンパクトな組織で、改修事業に携わることで様々なことを経験でき、自分のスキルアップに繋がることが魅力です。



なる
ほど!

北海道企業局 のシゴト

北海道職員の中でも、電気や工業用水を手がける
企業局のシゴトをご存知ですか？

この小さな冊子では鷹泊発電管理事務所働く
職員のインタビューから当局の役割を紐解きます。



電気や工業用水を 企業に販売し、北海道に貢献!

北海道企業局は、一般にイメージされる「道職員」とは少し違います。北海道が経営する地方公営企業（上下水道や病院、電気など地方自治体が経営する事業）として、札幌市、深川市、夕張市、苫小牧市、登別市の5拠点を中心に電気と工業用水を生み出し、電気事業者やものづくり企業に販売することでビジネスをサポート。北海道の経済とダイレクトに関わり、道民の暮らしも陰ながら支えているのです。

「北海道企業局」
とは?



ダムを管理するための専用機械を操作。

interview

北海道企業局のシゴトって? /

北海道の経済と 暮らしをサポートする 縁の下の力持ちです。

鷹泊発電管理事務所

土木係 技師

石若 理さん



工業用水は製造業からのニーズが意外と高いんです。

大学ではダムや河川に係わる土木工学を専攻しました。その知識を生かそうと北海道企業局に入職したんです。まずは札幌市の本局で約2カ月当局の概要や簡単な設計書の作成などを教わり、工業用水事業を行う登別市の室蘭地区工業用水道管理事務所に配属されました。製鉄所や工場では鉄を冷やすにも水道水を使うと費用がかさみますが、僕らの手がける工業用水は安価なため、ものづくり企業から意外とニーズが高いんです。

室蘭地区工業用水道管理事務所では地面に埋設した管を通して工業用水を送っています。僕は、その管を流れる水量の計算や契約企業の使用水量の確認、施設補修の設計書を作成するなど、さまざまな仕事に携わりました。

先輩方は分からないことを尋ねると、快く答えてくれる人ばかりです。困っていたら声をかけてもらうなど、新人に目配りしながらじっくり育ててくれる雰囲気を感じました。

台風や大雨の際には、事務所に詰めることもあります。

2年ほど前に深川市の鷹泊発電管理事務所に異動しました。ここでは鷹泊ダムの水位を活用して発電し、電力会社に販売しています。僕の仕事はダムや施設の管理、補修がメイン。例えば、ダムの管理では測量をはじめとする様々な定期観測を行い、過去のデータと比較して変化があれば原因を調べています。

当局の運営しているダムは、一般企業に工業用水を送ったり、発電のために水を貯めたりする「利水ダム」。とはいえ、台風や大雨の際には上流の雨量計や流量からダムに流れ込む水の量



職場は風通しが良く、和やかな雰囲気。

を予測し、実際の流入量から操作規程に沿って放流などを行っています。普段は残業も少なく、夜間や土日は囑託の職員が保守管理にあたりますが、台風や大雨による出水が見込まれる時は、夜通し事務所に詰めることもあるんです。

何事もなく業務を進めることが、北海道に貢献することなんです。

北海道企業局では、道民とダイレクトに関わる機会はありません。一方、工業用水に万一のトラブルが発生してしまうと、一般企業のビジネスを止めてしまう恐れもあります。先の北海道胆振東部地震の際は、鷹泊発電管理事務所でもできる限り電力を供給できるように努めました。僕らは「何事もなく」業務を進めることで、北海道経済や道民の皆さんの暮らしを縁の下で支える存在でもあるんです。

こちらもチェック!

石若さんのインタビューのロングバージョンは、Webサイト「北海道未来のしごとの参考書」で読むことができます。ぜひ、チェックしてください!



未来の
北海道
しごとの参考書



